

2020

9/4

『防衛白書』勉強会に参加

福岡市議会防衛議員連盟主催による、令和2年度『防衛白書』勉強会に参加しました。



然カウントはされていないということはもちろん分かります。最優先は感染拡大防止で、在宅勤務もしてほしいし数値目標もつけてお願いをしたので、このくらいになったんだということでもあります。ただ、未曾有の危機であるこのコロナのときに、市役所職員全員で対応した、頑張った、みんなで力を合わせてやった、福岡市の底力を出すという場面でもあったのではないかと思います。

3月、4月は異動の時期で、大変忙しい時期であります。しかしながら、今回はそれにプラスをしてコロナもありました。役所は日曜日も開いていましたけれども、大混雑をしております、住民票を取るのに1時間、2時間かかるというのも当たり前でございました。市民からすると、もう少し人を増やして、機械を増やして、広い場所ですと思った人もいます。国も県も市も新しい施策も出しましたが、電話もつながらない、でも相談をしたいという市民も大勢いたと思います。来年の3月、4月、そして、第2波に備えても、まだまだいろんな工夫の余地はあると思います。

今後の働き方として、在宅勤務の活用に向けてど

のように考えているか、今後導入していくのか有事のみなのか、在宅勤務をした人の声はどうだったのか、メリットデメリットなど把握できているのかお尋ねをします。

A 〈総務企画局〉今回の要件を拡大して実施した在宅勤務につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための取組みとして緊急かつ一時的に実施したものでございます。

在宅勤務の活用など、多様な働き方を推進していく観点から、今後、今回の取り組みに係る職員の意見なども把握してまいります。

Q 〈平畑〉在宅勤務を1回もしていない、休みも取っていないという職員も大勢いらっしゃると思います。

福岡市役所もグローバルに対応していく必要はありますが、フェーストゥフェースが大事な仕事でもあります。職員同士の何気ない会話や雑談があってチームワークや団結も生まれます。

これからの新しい生活様式を踏まえた市役所の新しい働き方に対する市長の所見をお尋ねします。

A 〈高島市長〉新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、国において専門家会議の提言を踏まえた新しい生活様式が示され、オンライン会議やテレワークの推進など新しい働き方の実践が求められているところでございます。

福岡市におきましては、市民に最も近い基礎自治体であり、相談業務や福祉の分野など区役所をはじめ多くの部署が市民と直接かかわる業務に従事していることから、これまで同様、市民サービスの提供を丁寧かつ着実にしながら、新しい生活様式における実践例を踏まえ、オンライン会議などICTの活用をこれまで以上に推進するとともに、テレワークなどの多様な働き方について検討してまいります。

毎日更新

福岡市内の新型コロナウイルス感染状況
(2020年11月14日現在)

1. 感染状況
① 感染者数(累計): 49,231例
② 陽性者数(累計): 2,949例 (うち再発性11例を含む)
③ 濃厚接触者(累計): 12,463人
④ 入院患者数(現在): 74人
⑤ ホテル及施設内感染者: 42人
※11月13日までの累計数。 ※11月9日13日間の感染者

『福岡市内の新型コロナウイルス感染状況』を毎日ホームページのトップ画面で更新しております。感染予防にお役立てください。

お手数ですがご意見がございましたら下記の電話番号、FAX番号、又はE-mailアドレスまでお願いいたします。

TEL 092-843-7757
FAX 092-844-2420

E-Mail: hiramasa-kai@hirahata.info